

横浜グリーンエクスポ 横浜市出展「建物空間を活用した発信拠点」 株式会社レブセルと協賛契約を締結

～CO₂を回収し資源に変える「レコライム」及び炭素の環境価値の可視化システムに係る展示物の貸与～

横浜市は、横浜グリーンエクスポ会場に、地球にやさしい暮らしや環境とのかかわりを身近に体感できる2か所の拠点をつくります。そのうち、Urban GX Village内の「建物空間を活用した発信拠点」では、未来に向けて挑戦する市民・企業の皆さまとともに、「ライフスタイル・ゾーン」「フューチャー・ゾーン」の2つのゾーンを通じて、横浜が目指す循環型の未来のまち・暮らしを発信します。

この発信拠点において実施する先進技術の展示体験について、展示物や機器・建材等の貸出・提供に向けた協議を進めてきた結果、このたび、株式会社レブセルとの間で合意に至り、令和8年8月4日に先進技術の展示体験に関する協賛契約を締結します。

1 協賛契約の相手先

株式会社レブセル



2 協賛内容

(1) 大気中のCO₂を回収し資源に変える二酸化炭素吸収剤「レコライム」及び「炭素の環境価値」をスマートフォンで直感的に体験できる可視化（見える化）システムに係る展示物の貸与

(2) DAC※で回収したCO₂が固定された世界で初めての特別なグラス「ロックグラス」の提供

※大気中のCO₂を直接回収する脱炭素技術

3 来館者に提供する体験内容

従来の大規模施設に依存するのではなく、家庭や店舗などの身近な環境からCO₂回収に参加できる仕組みと、CO₂を資源として活用する社会の可能性について、来場者の理解を深めることを目指します。なお、本協賛に関連する技術・取組については、[株式会社レブセルのプレスリリース](#)をご参照ください。



4 先進技術の展示体験を通じて伝えたいメッセージ

「世界の明日を、みんなでひらく。Circular City YOKOHAMA」をコンセプトに、サーキュラー（循環）に挑戦する協賛企業の皆さまとともに、未来にときめく体験空間を創りあげ、横浜が目指す循環型の未来の暮らし・まちを発信します。そして、暮らしの「気づき」と「きっかけ」から生まれる一人ひとりの行動を、先進技術がもたらす「未来への希望」につなげていきます。

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



5 建物空間を活用した発信拠点の概要



園周路

ライフスタイル・ゾーン

自分に合った地球にやさしい「新たな
ライフスタイル」と出会う

フューチャー・ゾーン

サーキュラーに挑戦する企業が集結、
技術が支える横浜の未来に触れる



※詳細については、[横浜市ホームページ](#)をご参照ください。

お問合せ先

GREEN×EXPO 推進課担当課長 齋藤 TEL:045-671-4919



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

